



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 三井金属エンジニアリング株式会社
 コード番号 1737 URL <http://www.mesco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 住 伸一
 (氏名) 木原 基廣

TEL 03-5610-7833

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,914	△23.8	139	932.5	171	329.2	81	185.9
24年3月期第2四半期	11,697	42.8	13	—	40	—	28	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 112百万円 (255.5%) 24年3月期第2四半期 31百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	6.40	—
24年3月期第2四半期	2.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	14,927	9,320	62.4
24年3月期	17,439	9,527	54.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 9,320百万円 24年3月期 9,527百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	25.00	25.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,400	△6.8	770	△33.4	830	△31.9	430	△36.1	33.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	12,780,000 株	24年3月期	12,780,000 株
25年3月期2Q	3,260 株	24年3月期	3,260 株
25年3月期2Q	12,776,740 株	24年3月期2Q	12,776,740 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成24年10月15日に公表しました連結業績予想から、修正しておりません。

2. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく変わる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
4. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要やエコカー補助金等の政策効果により、一部に緩やかな回復基調が見られる一方で、欧州の財政危機による世界経済への悪影響、長引く円高、中国経済の減速等により企業業績の悪化が懸念され、先行き不透明な状況で推移いたしました。

建設業界におきましては、民間設備投資の緩やかな回復もあり底堅く推移しているものの、受注における激しい価格競争が継続するなど、予断出来ない経営環境にありました。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間における当企業集団の売上高は 8,914百万円（前年同四半期比 23.8%減）となりました。

損益面では、工事原価、及び、販売費及び一般管理費の削減などから、営業利益は139百万円（前年同四半期比 932.5%増）、経常利益は 171百万円（前年同四半期比 329.2%増）、四半期純利益は 81百万円（前年同四半期比 185.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

・エンジニアリング事業

国内の非鉄金属関連工事の受注高が減少したことなどにより、売上高は 6,384百万円（前年同四半期比 35.4%減）となりました。

また、経常利益は 259百万円（前年同期比 36.7%減）となりました。

・パイプ・素材事業

パイプ部門において、新幹線融雪用配管、トンネル用消火配管等の大型案件の進行基準による完成増などにより、売上高は 2,605百万円（前年同四半期比 34.5%増）となりました。

また、経常利益は 201百万円（前年同四半期 経常損失 90百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比較して、受取手形・完成工事未収入金等が 1,957百万円減少したことなどにより、2,511百万円減少の 14,927百万円となりました。

負債については、支払手形・工事未払金等が 1,832百万円減少したことなどにより、2,305百万円減少の 5,606百万円となり、また、純資産は 206百万円減少の 9,320百万円となりました。

この結果、自己資本比率は 62.4%となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末において、借入金等の有利子負債はありません。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フロー及び財務活動によるキャッシュ・フローが、それぞれ 993百万円、90百万円、319百万円の資金の流出となりました。

これに現金及び現金同等物に係る換算差額 19百万円を加算した結果、資金は 1,382百万円の減少となり、当第2四半期連結累計期間末の残高は 4,771百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間は、資金の主な増加要因としては、売上債権の減少に伴う資金の増加 4,556百万円などがありましたが、未成工事受入金の減少に伴う資金の減少 2,486百万円、仕入債務の減少に伴う資金の減少 1,834百万円、未成工事支出金の増加に伴う資金の減少 844百万円などの資金減少要因が、これを上回り、最終的に営業活動によるキャッシュ・フローは 993百万円の資金の流出（前年同四半期 資金の流入 3,340百万円）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の流出は 90百万円（前年同四半期 資金の流出 94百万円）となりました。

この主な流出は、有形固定資産取得による支出 94百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の流出は 319百万円 (前年同四半期 資金の流出 193百万円) となりました。
この主な流出は、配当金の支払 318百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月15日に公表致しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,537,268	1,463,519
受取手形・完成工事未収入金等	6,906,065	4,948,441
未成工事支出金	799,523	1,644,437
商品及び製品	179,309	170,259
材料貯蔵品	246,990	321,625
預け金	4,938,743	3,638,932
繰延税金資産	256,640	257,628
その他	248,356	193,885
貸倒引当金	△1,991	△1,160
流動資産合計	15,110,905	12,637,569
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	473,590	472,104
機械・運搬具	1,624,906	1,679,601
工具器具・備品	871,928	864,248
土地	1,099,000	1,099,000
リース資産	5,443	5,443
建設仮勘定	137,798	100,270
減価償却累計額	△2,608,508	△2,632,081
有形固定資産合計	1,604,159	1,588,585
無形固定資産		
ソフトウェア	83,003	70,100
その他	8,222	8,185
無形固定資産合計	91,226	78,285
投資その他の資産		
投資有価証券	53,462	54,714
繰延税金資産	393,155	395,065
その他	200,746	192,709
貸倒引当金	△14,265	△19,308
投資その他の資産合計	633,099	623,181
固定資産合計	2,328,484	2,290,052
資産合計	17,439,390	14,927,621

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	4,912,791	3,080,340
未払法人税等	361,815	56,696
未成工事受入金	328,528	439,567
賞与引当金	342,600	332,681
役員賞与引当金	26,000	—
完成工事補償引当金	110,100	106,300
工事損失引当金	82,600	81,200
その他	362,936	251,332
流動負債合計	6,527,371	4,348,118
固定負債		
退職給付引当金	1,268,466	1,174,132
役員退職慰労引当金	92,620	61,562
繰延税金負債	260	264
その他	23,358	22,787
固定負債合計	1,384,704	1,258,746
負債合計	7,912,076	5,606,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,085,350	1,085,350
資本剰余金	684,400	684,400
利益剰余金	8,198,621	7,961,024
自己株式	△2,083	△2,083
株主資本合計	9,966,288	9,728,690
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	4,105	2,695
為替換算調整勘定	△443,080	△410,630
その他の包括利益累計額合計	△438,974	△407,934
純資産合計	9,527,313	9,320,755
負債純資産合計	17,439,390	14,927,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高		
完成工事高	10,575,124	7,645,522
兼業事業売上高	1,121,877	1,269,244
売上高合計	11,697,001	8,914,766
売上原価		
完成工事原価	9,547,181	6,624,344
兼業事業売上原価	938,979	1,012,317
売上原価合計	10,486,161	7,636,662
売上総利益		
完成工事総利益	1,027,943	1,021,177
兼業事業総利益	182,897	256,926
売上総利益合計	1,210,840	1,278,104
販売費及び一般管理費	1,197,370	1,139,020
営業利益	13,470	139,084
営業外収益		
受取利息	33,761	33,462
持分法による投資利益	—	831
雑収入	6,078	6,816
営業外収益合計	39,839	41,111
営業外費用		
支払利息	100	81
手形売却損	552	—
為替差損	6,600	7,203
持分法による投資損失	2,631	—
貸貸収入原価	3,038	565
雑支出	364	581
営業外費用合計	13,287	8,431
経常利益	40,022	171,764
特別利益		
固定資産売却益	—	650
特別利益合計	—	650
特別損失		
固定資産除却損	311	33,374
会員権評価損	—	3,145
特別損失合計	311	36,520
税金等調整前四半期純利益	39,710	135,893
法人税等	11,096	54,072
少数株主損益調整前四半期純利益	28,614	81,820
四半期純利益	28,614	81,820

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	28,614	81,820
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△218	△1,409
為替換算調整勘定	5,174	32,029
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,826	419
その他の包括利益合計	3,129	31,039
四半期包括利益	31,744	112,860
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,744	112,860

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	39,710	135,893
減価償却費	59,347	65,337
のれん償却額	6,395	—
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△650
固定資産除却損	311	26,215
会員権評価損	—	3,145
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,887	4,194
賞与引当金の増減額(△は減少)	14,153	△9,918
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△109,600	△3,800
工事損失引当金の増減額(△は減少)	86,100	△1,400
退職給付引当金の増減額(△は減少)	29,152	△94,333
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,047	△31,057
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,000	△26,000
受取利息及び受取配当金	△33,761	△33,462
支払利息	100	81
為替差損益(△は益)	5,918	2,157
持分法による投資損益(△は益)	2,631	△831
売上債権の増減額(△は増加)	2,023,924	4,556,538
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△665,252	△844,842
その他のたな卸資産の増減額(△は増加)	△78,677	△65,585
仕入債務の増減額(△は減少)	853,858	△1,834,834
未成工事受入金の増減額(△は減少)	1,501,705	△2,486,849
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△78,659	35,557
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△26,448	△65,120
その他の固定資産の増減額(△は増加)	2,053	2,070
小計	3,613,122	△667,494
利息及び配当金の受取額	33,556	33,478
利息の支払額	△100	△81
法人税等の支払額	△305,795	△359,187
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,340,782	△993,286
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△89,094	△94,746
有形固定資産の売却による収入	—	650
無形固定資産の取得による支出	△3,852	△400
定期預金の預入による支出	△201	△463
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△876	4,897
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94,024	△90,062
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△190,865	△318,729
リース債務の返済による支出	△2,420	△571
財務活動によるキャッシュ・フロー	△193,286	△319,301
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,843	19,888
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,058,315	△1,382,761
現金及び現金同等物の期首残高	3,451,648	6,153,868
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,509,963	4,771,106

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	エンジニアリング事業	パイプ・素材事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	9,869,843	1,827,158	11,697,001
セグメント間の内部売上高又は振替高	14,842	109,511	124,353
計	9,884,685	1,936,669	11,821,355
セグメント利益又は損失(△)	409,603	△90,763	318,839

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	318,839
全社費用(注)	△278,816
四半期連結損益計算書の経常利益	40,022

(注) 全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	エンジニアリング事業	パイプ・素材事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	6,381,866	2,532,899	8,914,766
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,046	72,179	75,225
計	6,384,913	2,605,078	8,989,992
セグメント利益	259,389	201,037	460,427

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	460,427
全社費用(注)	△288,663
四半期連結損益計算書の経常利益	171,764

(注) 全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、エンジニアリング事業部の素材営業部とパイプ事業部を統合する事により、販売網の共有等を図りシナジー効果による営業力強化、及び、人員及び業務の効率化を図ることを目的とした会社組織の変更を行いましたので、報告セグメントを従来の「エンジニアリング事業」及び「パイプ事業」から、「エンジニアリング事業」及び「パイプ・素材事業」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当企業集団では生産実績を定義することが困難であるため「生産の状況」は記載しておりません。

②受注実績

第1四半期連結会計期間より、「(5)セグメント情報等」に記載のとおり、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

セグメントの名称	受注高（千円）	前年同四半期比（%）	受注残高（千円）	前年同四半期比（%）
エンジニアリング事業	5,491,271	52.0	5,637,335	65.3
パイプ・素材事業	3,873,643	158.9	3,598,903	205.3
セグメント間の内部売上高又は振替高	△32,623	—	△140,251	—
合計	9,332,290	72.1	9,095,987	90.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③売上実績

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

セグメントの名称	売上高（千円）	前年同四半期比（%）
エンジニアリング事業	6,384,913	64.6
パイプ・素材事業	2,605,078	134.5
セグメント間の内部売上高又は振替高	△75,225	—
合計	8,914,766	76.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。